

教科	科 目	単位数	学年・クラス
地理歴史	日本史B	5	3年2組

### 1 使用教材

使用教科書	詳説日本史 改訂版
出版社	山川出版
副教材等	図説 日本史通覧
出版社	帝国書院

### 2 学習の目標

1	日本史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
2	日本の伝統と文化の特色についての認識を深める。
3	歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
①関心・意欲・態度	日本史の学習に積極的な姿勢で取り組む。
②思考・判断・表現	日本史の出来事や人物、社会状況などについて考え、それを表現する。
③技能	日本史の資料を読み取り、その内容を適切にまとめ、表現する。
④知識・理解	日本史の出来事や人物などについて、背景や結果を含めて理解する。

評価方法 \ 観点	観点				備考
	①	②	③	④	
授業の参加	A	B	B	C	授業中の発言やグループ活動、発表会
小テスト	C	C	C	A	1週間に1回程度実施
レポート	B	A	B	B	1単元に1つ、ポートフォリオシートに記入
定期考査	C	B	A	A	

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

## 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第6章 幕藩体制の確立 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	織豊政権・幕藩体制の特質について、ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などの対外関係、支配体制と身分制度、文化などの特色に着目して理解する。 幕藩体制の安定に基づく平和と秩序の確立と、その下での経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、農業や商工業の発展及び町人文化の形成について理解する。 幕藩体制の動揺について、幕藩体制の構造的変化と国際情勢の変化に着目して理解する。
2 学期	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 近代日本と東アジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 恐慌の時代 4 軍部の台頭 5 第二次世界大戦 第11章 戦後日本の出発 1 占領と民主化 2 冷戦の開始と日本の復興	近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察する。 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察する。 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察する。 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察する。 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察する。 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかわりについて考察する。
3 学期	第12章 55年体制と経済成長 1 55年体制 2 高度経済成長期の経済と社会 3 経済大国 4 現代の世界と日本 3か年のまとめと演習	現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識する。 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察する。 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。